

SASB 対照表

当社グループは、SASB（Sustainability Accounting Standards Board、サステナビリティ会計基準審議会）のIT&ソフトウェア業界におけるスタンダードを参照しており、サステナビリティに関連する開示を以下の通り、行っています。

項目	指標	コード	開示内容
ハードウェア設備、インフラの環境負荷	(1) 総エネルギー消費量 (2) グリッド電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	TC-SI-130a.1	総エネルギー消費量 2022年5月期：14,193GJ（うち、電気：10,411GJ、ガス：3,782GJ） 2021年5月期：10,361GJ（うち、電気：7,259GJ、ガス：3,102GJ） ※総エネルギー消費量は、省エネ法に基づく算出方法を用いた上で、電気とガスの消費量の合計値（単位：ギガジュール）で算出しています。 ※ガス消費量は、消費量の把握が可能な一部オフィスにおける実績を用いてオフィス面積当たり消費量を算出した上で、当該数値にガス利用が可能な全オフィスの総面積を乗じて算出しています。
	(1) 総取水量 (2) 水の総消費量、それぞれの水ストレスが「高い」「極めて高い」地域の割合	TC-SI-130a.2	総取水量 2022年5月期：4,093 m ³ 2021年5月期：2,692 m ³ ※総取水量は、上水道の利用量で算出しています。また、利用量の把握が可能な本社オフィスにおける実績を用いて従業員1人当たり消費量を算出した上で、当該数値に総従業員数を乗じて算出しています。
	データセンターにおける環境配慮を戦略計画に統合するための議論	TC-SI-130a.3	-
データプライバシーと表現の自由	行動ターゲティング広告とユーザープライバシーに対するポリシーや慣行の記述	TC-SI-220a.1	プライバシーポリシー
	副次的な目的のために情報が使われたユーザー数	TC-SI-220a.2	-
	ユーザープライバシーに関連する法的手続きによる金銭的損失の総額	TC-SI-220a.3	-
	(1) 法的機関からのユーザー情報開示の要求の件数 (2) 要求されたユーザー情報の件数 (3) 開示に至った割合	TC-SI-220a.4	-
	国の要請により、コア製品もしくはサービスがモニタリング・ブロック・コンテンツフィルタリング・検閲下に置かれている国のリスト	TC-SI-220a.5	-

<p>データセキュリティ</p>	<p>(1) データ漏洩の数 (2) 個人が特定できる情報が含まれた割合 (PII) (3) 影響を受けたユーザー数</p>	<p>TC-SI-230a.1</p>	<p>-</p>
	<p>サードパーティのサイバーセキュリティ規格を含む、データセキュリティリスクの認識や対処に関するアプローチの記述</p>	<p>TC-SI-230a.2</p>	<p>JISQ15001 の規格に準拠したプライバシーマークや ISO27001 の規格に準拠した ISMS、ISO27017 の規格に準拠したクラウドセキュリティ認証、米国公認会計士協会 (AICPA) の既存の Trust サービス基準 (TSC) に基づく SOC2 の発行等の手法を通じて、自社組織内及びサービス提供上のデータセキュリティリスクを特定して対処しています。</p>
<p>グローバル、ダイバーシティ、熟練者の雇用と管理 (従業員のダイバーシティ&インクルージョン)</p>	<p>以下についての従業員の割合 (1) 外国籍の従業員 (2) 国外で勤務する従業員</p>	<p>TC-SI-330a.1</p>	<p>外国籍の従業員割合 2022 年 5 月期末 : 2.6% (30 名 / 1,172 名) 2021 年 5 月期末 : 3.0% (28 名 / 934 名)</p> <p>日本国外で勤務する従業員割合 2022 年 5 月期末 : 0.8% (9 名 / 1,172 名) 2021 年 5 月期末 : 1.0% (9 名 / 934 名)</p> <p>※Sansan 株式会社及び Sansan Global Pte. Ltd.の正社員、契約社員を対象として算出しています。 ※2022 年 5 月期末時点で、日本を含む 19 か国の国籍を持つ従業員が在籍しています。</p>
	<p>従業員エンゲージメントの割合</p>	<p>TC-SI-330a.2</p>	<p>当社では、組織や従業員の状態を把握し、その継続的な改善に取り組んでいます。定期的かつ継続的に「エンゲージメントスコア」を定量測定し、個人や組織の状態、課題、阻害要因を可視化することで、従業員のセルフマネジメントや役職者によるチームビルディング、全社的な社内制度・施策の立案といった組織マネジメントに活用しています。</p> <p>①エンゲージメントサーベイ 役員、正社員、契約社員に対して月に 1 回実施しています。自身の回答結果分析のほか、役職者は組織の回答結果分析を即時に確認することができ、セルフマネジメントや組織マネジメント、全社的な社内制度・施策の立案等に活用しています。</p> <p>平均回答率 2022 年 5 月期 : 85.8% 2021 年 5 月期 : 87.6%</p> <p>②ストレスチェック 正社員、契約社員、社会保険加入者に対して年に 1 回実施しており、個人や組織課題の早期発見に努めています。</p>

			平均回答率 2022年5月期：71.7% 2021年5月期：80.0%
	以下についての性別および人種、民族グループの割合 (1) マネジメント層 (2) 技術スタッフ (3) その他全ての従業員	TC-SI-330a.3	管理職における性別割合 2022年5月期末：男性 83.5%（152名）／女性 16.5%（30名） 2021年5月期末：男性 85.5%（124名）／女性 14.5%（21名） 技術系従業員における性別割合 2022年5月期末：男性 86.9%（353名）／女性 13.1%（53名） 2021年5月期末：男性 87.9%（276名）／女性 12.1%（38名） 全従業員における性別割合 2022年5月期末：男性 66.4%（778名）／女性 33.6%（394名） 2021年5月期末：男性 65.8%（615名）／女性 34.2%（319名） ※Sansan 株式会社及び Sansan Global Pte. Ltd.の正社員、契約社員を対象として算出しています。 ※技術系従業員は、エンジニア職、研究開発職、クリエイター職を対象（管理職を含む）としています。
知的財産と競争行動	反競争的行動に関連する法的手続きによる金銭的損失の総額	TC-SI-520a.1	該当事項はありません。
破壊的技術に対する体系的なリスクマネジメント	(1) パフォーマンスの問題数 (2) サービス中断回数 (3) 顧客のダウンタイム総数	TC-SI-550a.1	—
	事業継続リスクの説明	TC-SI-550a.2	従業員の安全確保の観点から策定した防災マニュアルのほか、サービスの継続提供の観点から策定したインシデントガイドラインを運用しており、原因の如何に関わらず、発生したリスクに対して、事業継続とサービスの継続提供を行う体制を構築しています。

指標	コード	開示内容
(1) ライセンスまたはサブスクリプションの数 (2) クラウドベースの割合	TC-SI-000.A	—
(1) データ処理能力 (2) アウトソーシングの割合	TC-SI-000.B	—
(1) データ容量 (2) アウトソーシングの割合	TC-SI-000.C	—